

ケースメソッドで主体的学びを 実現する

丸山 恭司 氏

(広島大学大学院教育学研究科・教授)

【講演概要】

「主体的学び」を可能とするアクティブラーニングの一手法として、また「単位の実質化」という点からも、いまケースメソッドが注目されています。本セミナーでは、まずケースメソッドがどのような教育方法であるのかを紹介し、学生と教育機関の双方にとっていかなる意義と可能性をもつものであるのかを解説します。さらに、本セミナーがケースメソッド導入のきっかけとなるよう、具体的な進め方や留意点を挙げて検討します。

日時：2012年12月11日(火)
16:30～18:30

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館7Fオープンホール

【お問合せ先】

info@cshe.nagoya-u.ac.jp
Tel:052-789-5696

ご参加いただける方は、事前に上記メールアドレスまでご一報いただくと助かります。会場準備の都合によるものですので、必須ではありません。